

企画展

日本の版画・1941-1950・「日本の版画」とは何か

会期 2008年1月12日(土)→3月2日(日)
会場 千葉市美術館 7階展示室
開館時間 10:00-18:00(毎週金・土曜日は20:00まで)

*入館受付は閉館の30分前まで

休館日 第1月曜日(2月4日)

観覧料 一般800円(640円)
高校・大学生560円(450円)

小・中学生無料

* ()内は団体30人以上・前売料金および
市内在住60才以上のかた

*前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ
(1月6日まで)、千葉都市モノレール「千葉駅」
「千葉みなと駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口
(3月2日まで)にて販売

主催 千葉市美術館・東京新聞

出品協力 東京国立近代美術館・東京都現代美術館・町田市立国際版画美術館・和歌山県立近代美術館

展覧会について

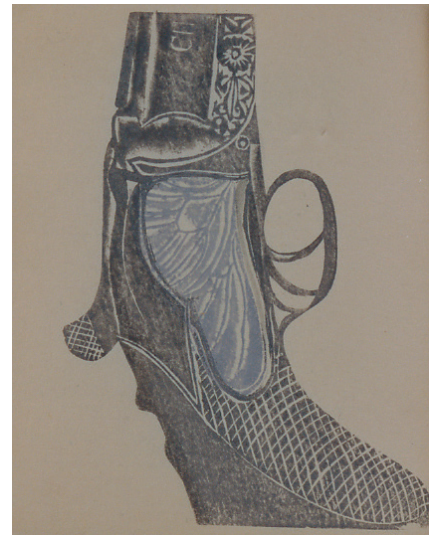
本展は、1997年以来千葉市美術館で開催しておりますシリーズ展「日本の版画」の第五弾。これまであまり顧みられることのなかった1940年代の日本版画を概観し、版画にとってこの時代がいかなるものであったかを検証します。

対象となる年代は太平洋戦争の始まる1941年から。いよいよ自由な活動を封じられ、映画や写真、新聞や雑誌といったメディアに大衆との接点を奪われるなかで、版画家たちはそれぞれに戦争との対峙を迫られました。あるものは大政翼賛会のもとに結成された日本版画奉公会に拠って献納版画を手がけ、あるものは疎開地の風景や外地に取材しながら「日本」とは何かを改めて問いました。また私家版の小世界に沈潜するベテランがおり、才能を開花させることなく戦病死した版画家の卵たちもおりました。

そして戦後、戦中に溜め込んだエネルギーを吐き出すように、日本の版画は新たな展開を見せます。大型の抽象版画が勃興し、明治期以来の創作版画から隔絶した若手も次々に現れ、やがては国際展での受賞を重ね、日本のアートシーンを牽引するまでになるのです。展覧会の主たる対象は1950年までですが、エピローグとして1953年頃までの作品をご覧いただき、近代版画から現代版画に至るダイナミックな造型の展開をご堪能いただければと思います。

主な出品作家

畦地梅太郎 / 泉茂 / 瑛九 / 奥山儀八郎 / 小野忠重 / 恩地孝四郎 / 加藤太郎 / 川上澄生 / 川西英 / 北岡文雄 / 北川民次 / 上阪雅人 / 駒井哲郎 / 斎藤清 / 品川工 / 杉原正己 / 関野準一郎 / 武井武雄 / 橋本興家 / 初山滋 / 浜口陽三 / 浜田知明 / 平塚運一 / 前田政雄 / 前田藤四郎 / 武藤完一 / 棟方志功 / 山口源 / 山口進ほか



加藤太郎『JEU D' OBJET 2』より〈慾望〉
1945年 / 木版 / 郡山市立美術館蔵

関連イベント

◎スペシャル講演会「近代日本の版画を考える」

2月9日(土) 14:00より / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

第一部「伝統版画の系譜をたずねて」講師：岩切信一郎(東京文化短期大学教授)

第二部「創作版画の展開をたどって」講師：三木哲夫(国立新美術館副館長)

主催：千葉市美術館・国際浮世絵学会

◎ワークショップ「蔵書票を作ろう」

2月2日(土)・3日(日) / いずれも13:00→15:30 / 美術館1階エントランスにて / 参加無料

*申込みは不要です。材料がなくなり次第終了いたします。

◎ギャラリートーク

担当学芸員による：1月16日(水)・2月8日(金)・29日(金) 14:00より

ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(1月16日を除く) 14:00より

*チケットをお持ちの上、7階展示室入口にお集りください。

◎市民美術講座「恩地孝四郎一版に詩を刻むひと」

2月16日(土) 14:00より / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

講師：西山純子(本館学芸員)

同時開催

◎「市民のための美術コレクションケア展—家庭でできる作品の管理」

1月8日(火)→20日(日) 9階市民ギャラリーにて / 会期中無休 / 入場無料

*レクチャー「知りたい! コレクションケアの方法」や「個人コレクション公開相談会」、中学生のためのワークショップなども開催いたします。詳しくは美術館までお問い合わせください。

◎「芳年・芳幾の錦絵新聞—東京日々新聞・郵便報知新聞全作品—」

1月12日(土)→3月2日(日) 8階展示室にて / 「日本の版画」をご観覧のかたは無料(当日のみ)。

交通案内

◎JR千葉駅東口より

徒歩約15分

千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川(よしかわ)公園駅」下車徒歩5分

バスのりば7より大学病院行、または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩2分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では、京葉道路または東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ。貝塚IC下車。

国道51号を千葉市街方面へ約3km。広小路交差点近く。

◎地下に駐車場があります

*本資料に関するお問い合わせおよび報道用写真のご請求は：

千葉市美術館 学芸課 西山純子 nishiyama@ccma-net.jp

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL. 043-221-2313 FAX. 043-221-2316



恩地孝四郎〈南海への思念〉
1942年 / 木版 / 和歌山県立近代美術館蔵



山口源〈白と黒 室内〉
1950年 / 木版 / 沼津市庄司美術館蔵



浜田知明〈初年兵哀歌（銃架のかけ）〉
1951年 / 銅版 / 町田市立国際版画美術館蔵



川上澄生『時計』より
1944年 / 木版 / 鹿沼市立川上澄生美術館蔵

*本資料に掲載しております写真は報道用写真としてお使いいただけます。
ご希望の方は nishiyama@ccma-net.jp までご連絡ください。